

兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年 第8週 (2月18日~2月24日)

平成20年2月28日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

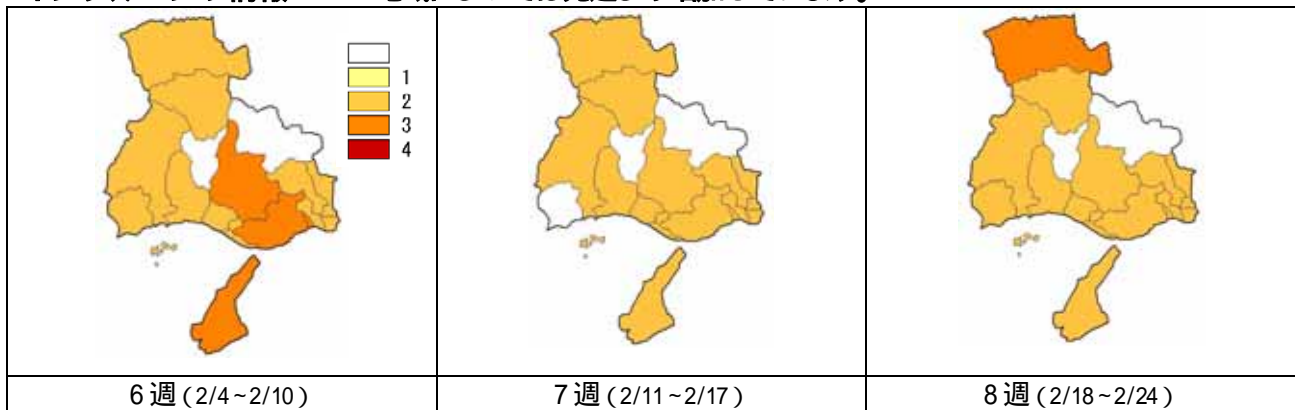
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.gov/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.gov/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

インフルエンザ情報

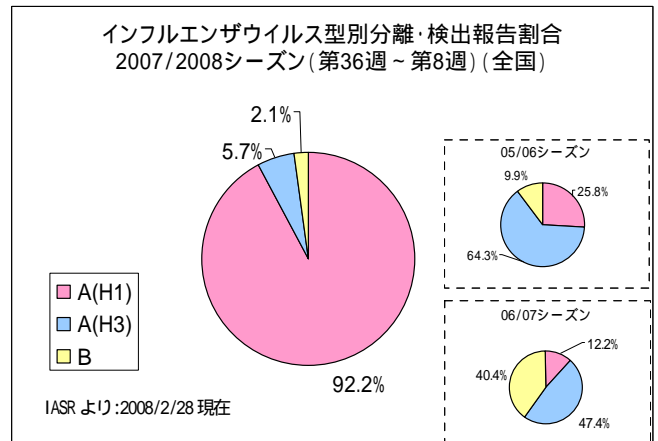
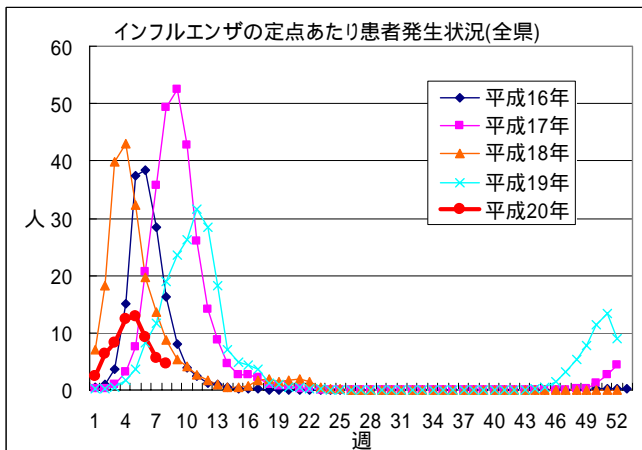
地域によっては先週より増加しています。



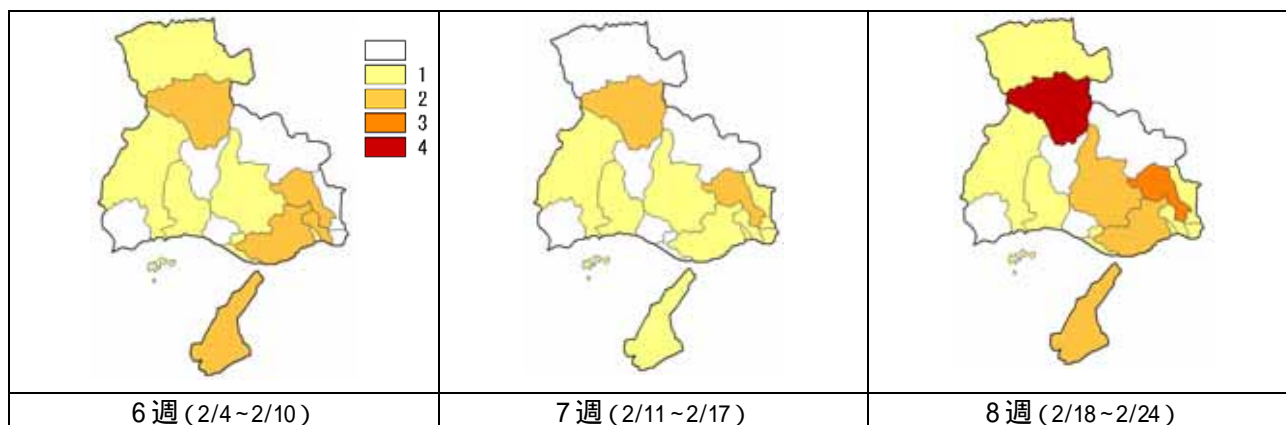
全国のインフルエンザの定点あたり患者数は、8.77人(先週9.51人)となり第5週をピークとして減少が続いています。26府県で警報レベル、39道府県(兵庫県含む)で注意報レベルとなっています(第7週現在)。依然として、全国で分離されているインフルエンザウイルスの約9割をA/H1亜型(Aソ連型)が占めています。(第36週~8週)

今週県内の定点からは患者数939人(先週1,101人)、定点あたり患者数4.72人(同5.53人)の報告がありました。第5週にピークを迎えて以降、3週連続で減少していますが、A香港型やB型が増加してくると新たな流行となるので、インフルエンザの動向には今後も注意が必要です。保健所別でみると、和田山保健所管内以外は注意報レベルである定点あたり患者数10.0人未満となっています。また、県内第7週の学級閉鎖等の数は13施設(去年同期42)、欠席者82人(同531人)となっており、いずれも減少傾向にあります。

インフルエンザ予防のために、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などを心がけましょう。



感染性胃腸炎 先週より患者数が増加しました。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数は今週増加しました。感染性胃腸炎の主要な病原体とされているのがノロウイルスで、感染すると下痢・嘔吐・吐き気・腹痛などの症状を呈します。感染拡大や、二次感染を防ぐためには、排泄物（吐物・便）やそれらが付着した着衣の消毒処理・処理時における使い捨て手袋やマスクの着用・処理後の手洗いなどが大切です。

厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ&A**」が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf>（厚生労働省）

その他の定点把握感染症等の概況

水痘の定点あたり患者数は今週わずかに増加しました。冬から春にかけて流行する感染症で、伝染力は麻疹に次いで強く、家族内感染発症率は90%以上といわれており、流行期を迎えている現在、注意が必要です。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点あたり患者数は今週増加しました。冬期に流行がみられ、学童期の小児に多い感染症です。**流行性角結膜炎**の定点あたり患者数は2週連続で増加しました。**RSウイルス感染症**は冬期流行のピークを終え、第5週以降減少が続いています。

昨年、全国的に流行した**麻疹**は毎週数人の報告があります。昨年同様に成人の患者が多いのが特徴です。麻疹は春が流行期ですので今後の動向に注意が必要です。

定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減		疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減
1位	感染性胃腸炎	8.98	7.65	+1.33	6位	突発性発しん	0.53	0.43	+0.10
2位	インフルエンザ	4.72	5.53	-0.81	7位	流行性耳下腺炎	0.40	0.42	-0.02
3位	水痘	1.70	1.67	+0.03	8位	RSウイルス感染症	0.35	0.39	-0.04
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.13	0.99	+0.14	9位	咽頭結膜熱	0.22	0.22	±0.00
5位	流行性角結膜炎	0.63	0.54	+0.09	10位	手足口病	0.20	0.10	+0.10

全数把握感染症

1類感染症： 報告はありません。

2類感染症： **結核 10名**（尼崎市3名、姫路市2名、伊丹健康福祉事務所管内2名、宝塚健康福祉事務所管内2名、加古川健康福祉事務所管内1名）

3類感染症： **腸管出血性大腸菌感染症 1名**（豊岡健康福祉事務所管内：0157 VT2+）

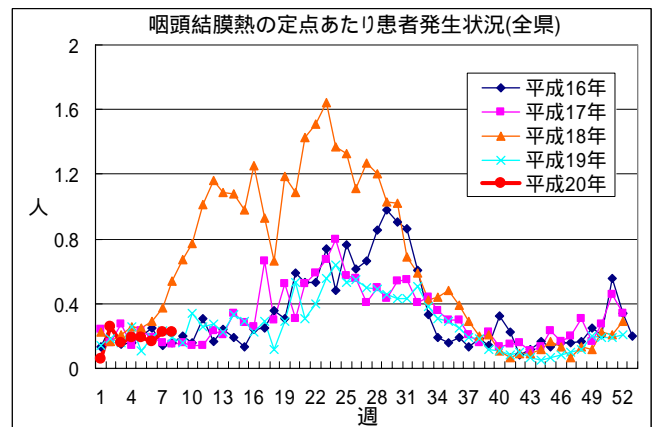
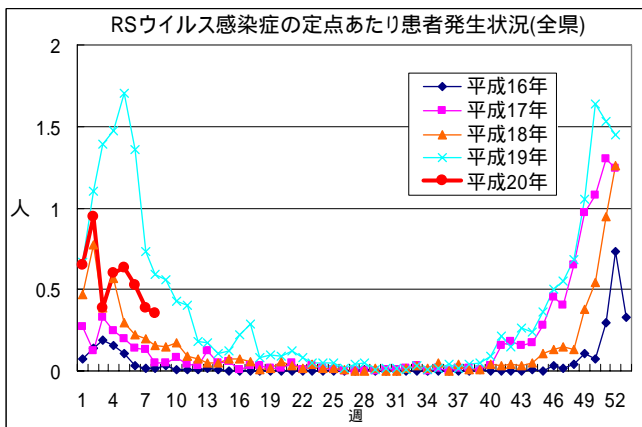
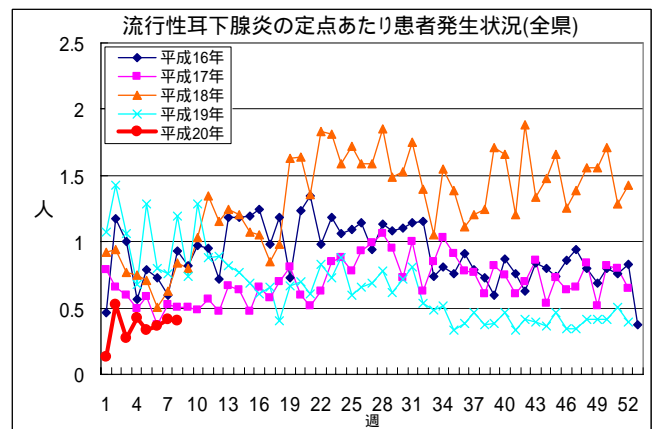
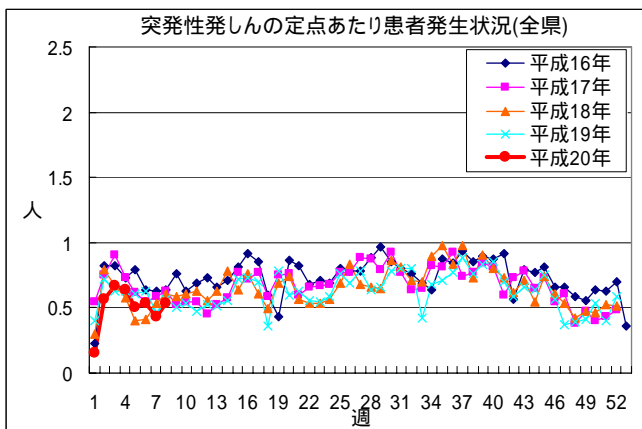
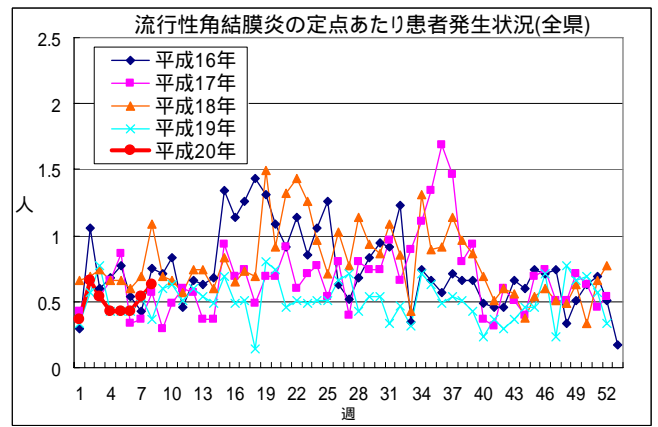
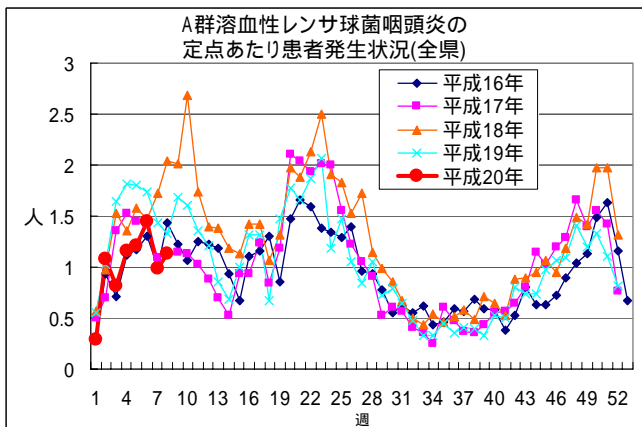
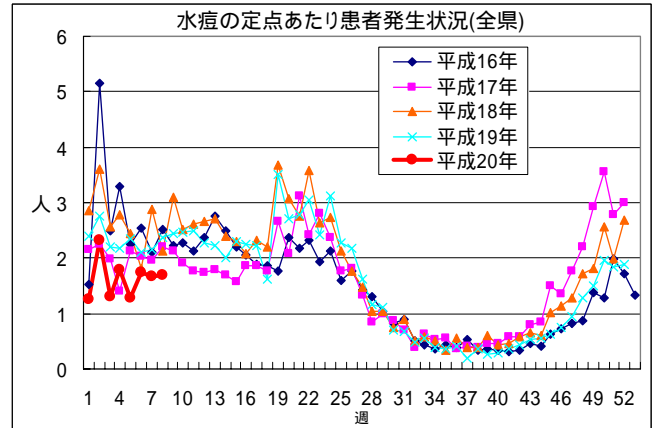
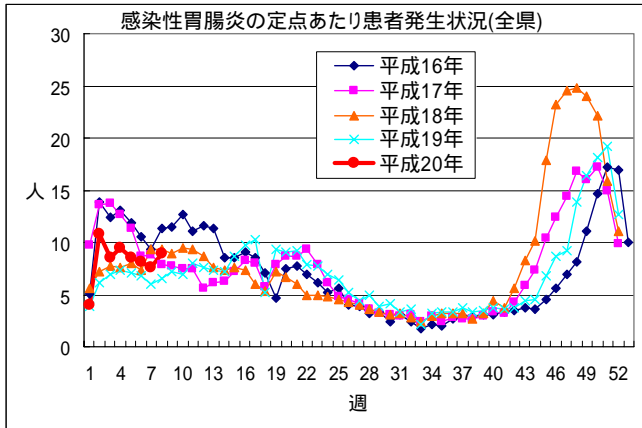
4類感染症： **レジオネラ症 1名**（宝塚健康福祉事務所管内・肺炎型）

5類感染症： **後天性免疫不全症候群（無症候期）1名・(AIDS)1名**

麻疹 3名（神戸市・14歳/ワクチン接種歴不明, 14歳/ワクチン接種歴無, 28歳/ワクチン接種歴無）

追加報告： **結核 16名**（姫路市1名；第7週、社健康福祉事務所管内15名；第4週1名, 第5週2名, 第6週8名, 第7週4名・うち8名施設内感染）

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDIR)がダウンロードできます。